

## 複式3・4年国語科学習指導案

3年 男子2名 女子2名 計4名  
4年 男子3名 女子2名 計9名  
指導者 山下 真也

### 1 単元・教材 単元「調べたことをまとめて発信しよう」

教材「研究レポートを書こう」(書く・東書3年下・12時間)

教材「みんなで新聞を作ろう」(書く・東書4年下・12時間)

### 2 単元について

#### (1) 単元の位置とねらい

(第3学年)

この期の子どもたちは、2年生の同時期に、教材「二年一組、はつ明じむしょ」を使って、自分で調べたことや想像したことを整理して順序よく書く学習を経験してきている。また、3年生に進級してから、教材「かんさつしたことを書こう」で、校区的ようすについて段落ごとに整理しながら書いたり、教材「心にのこったことを書こう」で、伝えたいことの内容を中心に考えながら生活文を書いたりする学習をしてきている。

そこで今回は、生活の中で興味を持ったことについて調べ、レポートという定まった様式に沿って書く学習を仕組む。本単元でのねらいは、調査報告文の基本的な形式に沿って書く活動を通して、調べて分かったことや、そこから考えたことなどが読み手に分かりやすく伝わる構成と表現について考える能力を身に付けさせることである。

なお、本単元は複式指導の良さを生かし、指導を効果的に進める観点から、「同単元異内容指導」を行うこととし、交流場面を随時設けることとする。

ここでの学習は、今後、自分が経験した出来事と、自分が考えたことを分けて書く4年生への学習へと発展していくものである。

#### (2) 指導の基本的な立場

教材「研究レポートを書こう」は、調べたこと・調べた理由、調べて分かったこと、調べた感想と分けて整理してあり、それぞれの表現の違いや工夫に着目させるのに適した教材である。また、3年生のこの時期は、調べたり観察したことを報告する経験を重ねているものの、調べたことを丸写しして羅列したり、事実と感想が混在したりしがちである。調べて分かったことや、感想などを項目ごとに整理させる書き方に気付かせる本教材は、この時期にふさわしい教材であるといえる。

このような教材の特質を生かして、本単元では調べたことを項目ごとに組み立てる能力や、調べた事実とそこから得た感想が区別できるように言葉や表現を考える能力を身に付けさせたい。

具体的には、まず夏休みに書いてきた自由研究を使って、今までにレポートを書いてきた経験について振り返らせる。そして、教師が作成した実際のレポートや教科書で紹介してあるレポート例を紹介し、これから新たにレポートを書いていこうという意欲を高めたうえで、単元のめあてと学習計画を設

(第4学年)

この期の子どもたちは、3年生の同時期に、教材「研究レポートを書こう」を使って、自分で調べたことを報告書の形式に沿って整理しながら書く学習を経験してきている。また、4年生に進級してから、教材「わたしが選んだ今月のニュース」で、「いつ」「どこで」などといった大事なことを落とさないように書いたり、教材「わたしの考えたこと」で、考えが明確に伝わるように構成を工夫しながら意見文を書いたりする学習をしてきている。

そこで今回は、自分たちの興味・関心をもとに調べたいことに関する情報を集め、新聞というある程度自由度の高い様式にまとめる学習を仕組む。本単元でのねらいは、読み手の興味をひくようなレイアウトや見出しなどを決めていく活動を通して、よりよく相手に伝わる構成や表現について考える能力を身に付けさせることである。

なお、本単元は複式指導の良さを生かし、指導を効果的に進める観点から、「同単元異内容指導」を行うこととし、交流場面を随時設けることとする。

ここでの学習は、今後、事実と意見を分け、全体の構成を考えながら書く5年生への学習へと発展していくものである。

教材「みんなで新聞を作ろう」は、実際に児童が作成した新聞を例に、取材したことをより分かりやすく伝えるための工夫についてまとめられており、新聞の構成や表現上の工夫をつかませるのに適した教材である。また4年生のこの時期は、他教科や総合的な学習の時間においても、新聞を作る経験を重ねてきているものの、誰が読んでも分かりやすい表現をしようという意識はまだ低い。読み手に分かりやすい構成や表現の工夫について考えさせる本教材は、この時期にふさわしい教材であるといえる。

このような教材の特質を生かして、本単元では読み手が興味をもち、かつ分かりやすい構成について考える能力や、大事なことを落とさずに書く能力を身に付けさせたい。

具体的には、まず社会科でまとめた新聞を使って、今まで新聞を作ってきた経験について振り返らせる。そして、実際の新聞や教科書の新聞例を紹介し、これから新たに新聞を書いていこうとする意欲を高めたうえで、単元のめあてと学習計画を設定す

定する。この段階で、書く題材についても決定させたい。

次に、レポートの構成と記述について、導入で示した例を用いて調べる時間を確保する。ここでは、「調べたこと・調べた理由」「調べて分かったこと」「調べ終わっての感想」の3つに分けて項立てしてあることや、「～だそうです。」「～だと思います。」などの文末表現の違いに気付かせる。取材活動に入る前に、自分が取材してきたことを、どのように構成しながら記述していけばよいかを理解させておくことにより、児童の主体性を高めていきたい。

その後、実際にレポートを作成する段階に入っていく。取材方法を確認したうえで、自分の目的に合わせた取材活動ができるように指導していく。1回目の取材活動が終わった後、草案を作らせ、足りなかった材料はなかったかを確認させた後、再び取材活動の時間を設ける。取材、構成、取材と繰り返し取材活動を行うことで、内容の充実を図らせたい。また、下書き、推敲の段階で4年生のアドバイスを受ける時間を設ける。異学年交流の場を積極的に取り入れ、書くことに関するお互いの習熟を図らせていきたい。

最後に、書いたレポートをクラス内で読み合い、感想を交流させる。その際、観点をもって感想が交流できるよう、評価表の活用を図りたい。それから、校内や生活館にレポートを貼り出し、書いたものに関する反響を実感させたい。また、書いたものはデータ化し、今後の学習に生かせるようにしておくことにも取り組みたい。

学習形態については学年別指導を基本とするが、単元の過程をできるだけそろえ、学年を越えた異学年交流の場を積極的に設けることで、複式学級のよさを生かしていきたい。また、本単元では両学年とも「構成」「記述」の段階を重点化して指導することとし、評価規準を明確に示せるようにしていきたい。

### (3) 子どもの実態

本学級の子どもたちが、書くことに関すること及び複式指導(主にガイド学習)に対してどのように受け止めているかを調査した。結果は以下のとおりである。(調査実施日H25. 8. 21.)

る。その中で、書く題材についても決定させていきたい。

次に、新聞の構成と記述の仕方について、導入で示した例を用いて調べる時間を確保する。具体的には、見出しと本文に分かれた構成や写真や図表を取り入れた構成、「いつ」「どこで」「どうした」を取り入れた記述などに気付かせる。取材活動に入る前に、自分が取材してきたことを、どのように組み立てて記述していけばよいかをイメージさせておくことにより、児童の主体性を高めていきたい。

その後、実際に新聞を作成する段階に入っていく。取材方法を確認したうえで、自分の目的に合わせた取材活動ができるように指導していく。1回目の取材活動が終わった後、草案を作らせ、足りなかった材料はないかを確認させた後、再び取材活動の時間を設ける。取材、構成、取材と繰り返し取材活動を行うことで、内容の充実を図らせたい。また、下書き、推敲の段階で3年生のアドバイザーとして役割を与える。複式指導におけるよさとして、異学年交流の場を積極的に設け、お互いの書くことに関する習熟を図らせていきたい。

最後に、書いた新聞をクラス内で読み合い、感想を交流させる。その際、観点をもって感想が交流できるよう、評価表の活用を図りたい。それから、校内へ作成した新聞を掲示し、書いたものに関する反響を実感させたい。書いたものはデータ化し、今後の学習に生かせるようにしておくことにも取り組みたい。

第3学年				第4学年				
A児	B児	C児	D児	E児	F児	G児	H児	I児
① 作文を書くことは好きですか。								
あまり好きではない	好きではない	あまり好きではない	あまり好きではない	あまり好きではない	まあまあ好き	あまり好きではない	まあまあ好き	好き
② 「作文が好き・嫌い」の理由								
たくさん書く	たくさん書く 題の工夫が難しい	たくさん書く 題の工夫が難しい	材料が見つからない	文章を書くのが苦手	伝えたいことが書ける	長く書くのが面倒くさい	書いているうちに好きになった	出来事を伝えられる 賞がうれしい
③ 「レポート」(自由研究)を書くのは好きですか。				③ 「新聞」を書くのは好きですか。				
好きではない	好きではない	好きではない	あまり好きではない	あまり好きではない	好きではない	好きではない	好き	好きではない
④ 「レポートが好き・嫌い」の理由				④ 「新聞が好き・嫌い」の理由				
文章を書くのが好きではない	何枚も書かないといけない	絵や字を書くのが難しい	書き直しが嫌	長く書かないといけないから	たくさん書くので疲れる	難しいから	自分で好きなように書けるから	自分でまともないといけないから
⑤ 作文を書くときに、どちらかという得意なことは何ですか。次から1つ選びなさい。 ア. 書くことを決める    イ. 書く材料を集める    ウ. 書く順序を考える    エ. 工夫して表現する オ. 一度書いたあとに見直す    カ. 友達の作品を読んで感想をもつ								
ウカ	アイ	アイウカ	アイカキ	アカ	ウエオ	イエ	イウカ	アウカ
⑥ 作文を書くときに、どちらかという苦手なことは何ですか。								

ア. 書くことを決める		イ. 書く材料を集める		ウ. 書く順序を考える		エ. 工夫して表現する		
オ. 一度書いたあとに見直す				カ. 友達の作品を読んで感想をもつ				
アイエオ	ウエオカ	エオ	ウエ	イウエオ	アイカ	アウオカ	アエオ	イエオ
⑦ 友達が調べてまとめたものをよく読みますか。				⑦ 新聞をよく読みますか。				
まあまあある	まあまあある	まあまあある	ほとんどない	まあまあある	まあまあある	まあまあある	まあまあある	まあまあある
⑧ 「レポート」についての知識を問う設問。				⑧ 「新聞」についての知識を問う設問。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「レポート」自体の意味がよく分かっていない。</li> <li>・レポートという様式の特徴についても気付けない。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新聞」については、いろいろなニュースをまとめて紹介するものだという認識はできている。</li> <li>・「見出し」や「写真・絵」を取り入れた構成について気付いている。</li> </ul>				
⑨ ガイド学習の進め方はできていますか。								
あまりできていない	あまりできていない	まあまあできている	あまりできていない	あまりできていない	あまりできていない	あまりできていない	できていない	あまりできていない
⑩ 「⑨」の理由								
どう進めたいかわからないときがある	やることが多い	理科では出番がない	ときばきとできない	進め方が分からないときがある	みんなをまとめるのが難しい	進め方が分からないときがある	言うことを聞いてくれないときがある	進め方が分からないときがある
<p>3年生の児童の全体的な傾向は、以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書くことに関して、あまり意欲的ではない児童が多い。【設問① 4人中4人】</li> <li>・レポートの様式で書く活動について、経験はあるものの、抵抗を感じている児童が多い。【設問③ 4人中4人】</li> <li>・「題材設定・取材」に関して、得意だと思っている。【設問⑤ 4人中3人】</li> <li>・「表現の工夫」が難しいという意識を持っている。【設問⑥ 4人中4人】</li> <li>・「レポート」自体に馴染みがなく、ただ見ただけでは様式の特徴に気付けない。【設問⑧】</li> <li>・ガイド学習の進め方について不安を持っている児童が多い。【設問⑨ 4人中3人】</li> </ul> <p>書くことに関して苦手意識を持っている児童が多く、能力差も大きいことから、単元に入る前からの十分な手立てが必要な学年である。学年全体の傾向を踏まえつつ、個々の実態をさらに分析し、単元の指導に生かしたい。</p> <p>A児は、表現することが苦手な児童であり、書くことに関しても同様の傾向にある。書けないことにあせりを持たせないようにじっくり指導していく構えが教師側に必要な児童である。理解力はあるので、具体的な指示を個別に与えることや、活動時間を十分確保してあげることが心がけながら指導に当たりたい。また、授業の中でもリラックスした雰囲気の中で、友達と交流できる場面を作ってあげたい。</p> <p>B児は、能力的には上位の児童である。しかし、長文を書くような作業に対して早く終わらせたがる気持ちが見られる。意欲を持続させるために、目的意識や相手意識をしっかりともたせること、特に記述の場面での表現の工夫を賞賛し、よりよいレポートになっていく過程を楽しませられるよう心がけたい。</p> <p>C児は、普段の学習の様子を見る限り、書くことに関して意欲を持っている児童だと考えられる。ただ、条件や制限を加えたもとで書く文章や、形式を整えた文章を書くことは苦手である。そのことから、最近では書くことに関して自信を無くしている面が見受けられ</p>				<p>4年生児童の全体的な傾向は、以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作文を書くことに関して、意欲的でない児童がいる。【設問① 5人中2人】</li> <li>・新聞様式で書く活動について、経験はあるものの、抵抗を感じている児童が多い。【設問③ 5人中4人】</li> <li>・書く行程に関して、得意・不得意と感じている過程がばらばらである。【設問⑤・⑥】</li> <li>・「新聞」という様式についてはある程度理解していて、その特徴にもある程度気付ける。【設問⑧】</li> <li>・ガイド学習の進め方について、不安を持っている児童が多い。【設問⑨ 5人中5人】</li> </ul> <p>書くことに関して、積極的な児童とそうでない児童が混在している学年であることから、交流場面をうまく作りながら指導していくことが必要な学年である。学年全体の傾向を踏まえつつ、個々の実態をさらに分析し、単元の指導に生かしたい。</p> <p>E児は、発表に積極的で、アイデアも豊富な児童である。反面、根気に欠ける面があり、その気質は書く活動時にも表れ、長い文章を書くことや、丁寧に文字を書くことをおろそかにすることがある。普段の指導の中で根気強く関わりながら、自覚と責任感をもって学習に取り組む意識を持たせたい。</p> <p>F児は、書く能力はあるものの、活動内容を十分に把握できておらず、そのために活動に行き詰まったりすることがある。丁寧な説明を心がけるとともに、わたる段階で、活動内容を十分に把握できているかの見届けを十分に行っていききたい。また、普段から文量を多く書く方ではないので、構成段階でしっかりと関わり、見通しを持たせて書く活動に取り組ませたい。</p> <p>G児は、高い語彙力を身に付けている児童の一人である。一方で、丁寧に書くことをおろそかにしがちで、誤字、脱字も見られる。推敲と清書の段階で、十分関わっていききたい。また、話し合い活動に積極的な方ではないので、様子を見取りながら意見が出せるように声かけをしていききたい。</p> <p>H児は、書く能力が高く、長い文章も構成立てて丁</p>				

る。繰り返しの指導で定着を図りながら、できるようになった部分を自己評価させ、自信を持てるよう配慮していきたい。

D児は、学習に意欲的な児童である。国語の力も高く学習への意欲も見られる。材料集めに苦手意識があるという回答が見られるが、会話の中で複数の題材を引き出すことが可能な児童であるので、授業の中でも教師や友達との交流場面を多く作ってあげたい。また、1学期に国語のガイド役を務めていた経験を、間接指導時に生かせるような声かけをしていきたい。

1・2年生時に単式学級で授業を受けてきた4人は、まだガイド学習の経験が十分とは言えないため、間接指導時には十分な配慮が必要である。2学期、国語のガイド役になったB児とは、今後も事前の十分な打ち合わせが必要である。また、ガイド学習においては、ガイド役以外の児童の役割も重要であることから、4人の協力的な雰囲気作りにも普段から努めていきたい。

寧に書くことができる児童である。しかし、アンケートでは取材や構成に苦手意識がもっていることから、その部分の学習の振り返りをさせ、学習してきた積み上げを実感させ、自信を持って書く活動に入れるようにさせたい。

I児は、書く能力が高く、表現力もあり、モデルとして紹介したい文章を書くことができる児童である。ただ、取材や記述に対して苦手意識があるので、全体の前でよいところを紹介することで、書くこと全般に関する自信を付けさせるような機会を、単元前や単元中の学習の中で設けたい。

4年生は、昨年度の3年生のときから複式学級で学習してきているので、ガイド学習への慣れは十分見られる。しかし、進行をガイド役の児童に任せっきりになってしまうことがあり、個々がガイドの役割に自信を持ってない実態が見受けられる。ガイド役児童との十分な打ち合わせはもちろんのこと、ガイド学習を進める場合は、周りの建設的な意見が重要であることを普段から意識付けさせ、お互いに自信を深められるようにしていきたい。

#### (4) 指導上の留意点

ア レポートや新聞の題材設定については、総合的な学習の時間との関連を図り、自分たちの校区を題材として取り扱うこととする。子どもたちがどのような地域素材に興味を持ち、どのようなものを取り上げて総合の時間で調べているかを事前に把握しておく必要がある。なかなか題材が決められない児童には、子どもたちの中で広がった選択肢の中から選べるような配慮をしていきたい。

イ 教科書のレポート例と教師が作成したレポート例を比較し、研究レポートには共通の流れがあることに気付かせる。その上で、「調べたこと・調べた理由」「調べて分かったこと」「調べた感想」の3つに分けて構成していくことを話し合う。また、構成面だけでなく、記述面にも目を向けさせる。具体的には「予想とちがって、おどろきました。」「理由は、～だからです。」「～だそうです。」などの表現である。

ウ 下書きをする段階で、事実や伝聞、感想などの違いを意識できるようにするために、事実は「黄色」、「聞いたこと」は赤などといったように付箋を使って確かめられるようにする。

エ 推敲の段階では、文末表現が適切であるかに加えて、横書きの書式が守れているか、接続詞は適切に使えているかなどといった観点で見直しをさせる。また、4年生に校正を手伝ってもらう時間を設け、交流場面を作るようにする。

オ 友達の作文を読むときは、評価表を提示し、観点をもって読むことができるようにする。また、形式の評価だけでなく、内容に関する感想を伝え合うことで、知らせたいことが分かってもらえた満足感を味わわせるようにする。

カ ガイド学習の際は、ガイド役との打ち合わせを行っておき、自信をもって進められるように配慮する。また、活動内容が理解できていないという状況を防ぐために、わたる前にも活動内容を確認し、活動の開始を見届けてから他学年にわたるように心がける。

キ 単元の特性や複式学級であることよさを生かして、単元の導入と終末は一斉指導を行う。また、適宜異学年の交流場面を作ることで、それぞれの学年の学習内容の習熟を図る。

イ 教科書の新聞例と実際の新聞を比較し、「重要な記事に紙面を大きく割いている」「見出しがある」「写真やグラフがある」などといった新聞の割り付けにあるきまりについて気付かせる。その上で、付箋を用いて、自分の割り付け計画を考えさせておく。また、構成面だけでなく、文章が敬体で書かれていることや敬語が用いられている記述面にも目を向けさせる。具体的には、「～とおっしゃっていました。」「～を見てください。」などの表現である。

ウ 下書きをしていく段階で、大切なことを落としていないか確かめるために、「いつ」は黄色、「どこで」は赤などといったように、付箋を使って確かめられるようにする。

エ 推敲の段階では、大事なことが落とさずに書けているか、文末表現は適切か、敬意表現が使えているかなどといった観点で見直しをさせる。また、3年生の校正を手伝う時間を設け、交流場面を作るようにする。

オ 友達の作文を読むときは、評価表を提示し、観点をもって読むことができるようにする。また、形式の評価だけでなく、内容に関する感想を伝え合うことで、知ってほしいことが分かってもらえた満足感を味わわせるようにする。

<p>重点指導事項</p>	<p>(1) (構成) 文全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。</p>	<p>(1) ウ (記述) 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。</p>
<p>言語活動</p> <p>毎日の生活の中で興味を持ったことについて調べ、レポートに書いて報告する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【関連のある今までの学習】</b> 「案内の手紙を書こう」[3年] (9月) 評価規準：伝えたい相手のことを考え、案内するときに大事な事柄を考えている。 言語活動：相手や目的に合わせた内容や言葉遣いを考えながら、案内状を書く。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【学習の流れ】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 計画を立てて調べ、分かったことを整理する。</li> <li>2 全体の組み立てを考え、表記に気をつけて書く。</li> <li>3 「研究レポート」を読み合う。</li> </ol> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p><b>【評価規準】</b></p> <p>レポートの形式を理解し、調べた事柄を整理し、文章の構成を考えている。</p> <p>調べた方法や具体例、自分の考えたことが分かるよう言葉や表現を選んでレポートを書いている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【具体的指導事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「調べたこと・調べた理由」「調べて分かったこと」「調べた感そう」の項立てにそって書いている。</li> <li>② どのような調べ方で分かったことなのかを書く。</li> <li>③ 感想を書くとき「はじめは、～と思ったけれど、ちがった。」「予そうどおり、～だった。」の表現を使う。</li> <li>④ 横書きの正しい書き方。</li> <li>⑤ 適切な文末表現。（事実・感想・伝聞・引用）</li> </ol> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【関連のある今までの学習】</b> 「お話を作ろう」[3年] (10月) 評価規準：人物の行動や会話を取り入れ、場面の様子を分かりやすく書いている。 言語活動：絵地図をもとに想像を広げ、物語を書く。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【関連のある今までの学習】</b> 「わたしの作品集」をつくらう」[3年] (2月) 評価規準：一年間書いた作品を読み返し、特に紹介したいものを選んでいる。 言語活動：一年間書いてきた作品の中から気に入ったものを選び、それを紹介する文章を書く。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【関連のある今までの学習】</b> 「心の動きを文章に書こう」[4年] (4月) 評価規準：心が大きく動いた部分をくわしく書いたり、気持ちを表す言葉を工夫して書いたりしている。 言語活動：気持ちを表す語彙や表現の仕方について学び、それらの表現を取り入れた文章を書く。</p> </div>

〈具体的指導事項の活用例〉

- ① 「調べたこと・調べた理由」「調べて分かったこと」「調べた感そう」の項立てにそって書いている。
- ② どのような調べ方で分かったことなのかを書く。
- ③ 感想を書くとき「はじめは、～と思ったけれど、ちがった。」「予そうどおり、～だった。」の表現を使う。
- ④ 横書きの正しい書き方。
- ⑤ 適切な文末表現。（事実・感想・伝聞・引用）

谷口さんの調べる計画のメモ

調べること  
○むかしの遊び  
今の大人が子どものころは、どんな遊びをしていたのか。

調べたいと思った理由  
お父さんが子どものころの話聞いて、今の大人が子どものとき、どんな遊びをしていたのか知りたくなった。

調べ方  
(1) まわりの人にインタビューする。  
(お父さん・お母さん・校長先生)  
(2) 図書館の本で調べる。

調べる前の予そう  
お父さんたちもサッカーやゲームで遊んでいたのではないかな。

「むかしの遊び」研究レポート  
3年2組 谷口 幸起

1 調べたこと・調べた理由  
ぼくは、今の大人が子どものころに、どんな遊びをしていたのかを調べました。調べた理由は、お父さんが子どものころの様子を聞いて、今の大人が子どものころはどんな遊びをしていたのか調べてみたくなかったからです。

2 調べて分かったこと  
(1) かんけり  
みんなで近くの空き地に集まって、かんけりをしていました。お父さんもお母さんも校長先生もやったことがあると言っていました。  
お母さんの話によると、かんけりは、かんを使ったかくれんぼのようなものだそうです。おにになった人が、かくれている人をさがしに行きます。おには、かくれている人を見つけたら、名前をよんで、かんをふみます。かくれている人がおにに見つからずにかんをけつたら、かくれている人の勝ちです。

<p>重点指導事項</p>	<p>(1) イ (構成) 文全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。</p>	<p>(1) ウ (記述) 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。</p>
<p>言語活動</p> <p>集めた情報を伝えたいことの中心を考えながら構成し、新聞の形式で書く。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【関連のある今までの学習】</b> 「お願いやお礼の手紙を買おう」[4年] (9月) 評価規準：基本的な手紙の形式を理解し、手紙の書く内容の構成を考えている。 言語活動：手紙の基本的な形式を守り、読み手に気持ちが伝わるような案内状や礼状を書く。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【学習の流れ】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新聞の形式や特徴を知り、自分たちの新聞を作る計画を立てる。</li> <li>2 計画にそって取材や構成をし、新聞を作る。</li> <li>3 感想を交流し、学習を振り返る。</li> </ol> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p><b>【評価規準】</b></p> <p>新聞の形式を知り、全体のレイアウトや見出しの立て方について考えている。</p> <p>出来事を伝えるために大事なことを落とさず、分かりやすくなるよう資料を取り入れたりしている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【具体的指導事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 伝えたいことに合わせ、記事の分量や置き場所を考える。(わり付けの工夫)</li> <li>② 出来事の大事なことを落とさず書く。(1H5W)</li> <li>③ 伝えたいことを、より分かりやすくするため、写真や図などの資料を使う。</li> <li>④ 読む人の興味を引く見出しをつける。</li> <li>⑤ 数や名前を正しく書く。</li> <li>⑥ 文末表現(事実・考え)</li> <li>⑦ 段落分け</li> </ol> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【関連のある今までの学習】</b> 「お願いやお礼の手紙を買おう」[4年] (9月) 評価規準：読み手に伝えたいことが明確になるように、言葉や表現を工夫している。 言語活動：手紙の基本的な形式を守り、読み手に気持ちが伝わるような案内状や礼状を書く。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【関連のある今までの学習】</b> 「お願いやお礼の手紙を買おう」[4年] (9月) 評価規準：読み手に伝えたいことが明確になるように、言葉や表現を工夫している。 言語活動：手紙の基本的な形式を守り、読み手に気持ちが伝わるような案内状や礼状を書く。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【関連のあるこれからの学習】</b> 「目的に合わせて書こう」[4年] (1月) 評価規準：目的と形式に必要な資料を選び、伝えたいことを書いている。 言語活動：インタビュー記事を新聞の形式に書き換える。</p> </div>

〈具体的指導事項の活用例〉



- ① 伝えたいことに合わせ、記事の分量や置き場所を考える。(わり付けの工夫)
- ② 出来事の大事なことを落とさず書く。(1H5W)
- ③ 伝えたいことを、より分かりやすくするため、写真や図などの資料を使う。
- ④ 読む人の興味を引く見出しをつける。
- ⑤ 数や名前を正しく書く。
- ⑥ 文末表現(事実・考え)
- ⑦ 段落分け







The diagram illustrates how the seven specific guidance items are applied to a newspaper layout. The layout is divided into sections: '合唱コンクール' (Chorus Competition), '一輪車 全員成功' (Unicycle All Successful), '人気の本アンケート' (Popular Book Survey), and 'なかま' (Friends). Lines connect the numbered items to these sections: Item 1 to the chorus competition, Item 2 to the unicycle event, Item 3 to the book survey, and Item 4 to the 'なかま' section.

3 目標

- |   |   |
|---|---|
| <p>(1) 知りたいことについて調べ、研究レポートを書くことに意欲的に取り組もうとしている。<br/>(国語への関心・意欲・態度)</p> <p>(2) 調べたことについて、項立てに合わせてレポートを構成している。<br/>(書く能力・構成)</p> <p>(3) 項立てに合わせて、調べてきたことをまとめ直している。<br/>(書く能力・記述)</p> <p>(4) 文末表現が適切な形になっている。<br/>横書きのときの書式を守っている。<br/>接続詞が適切に使えている。<br/>(言語についての知識・理解・技能)</p> | <p>(1) 知りたいことについて調べ、新聞を作ることに意欲的に取り組もうとしている。<br/>(国語への関心・意欲・態度)</p> <p>(2) 新聞の形式を理解し、見出しや本文を分けながら、全体のレイアウトを考えて構成している。<br/>(書く能力・構成)</p> <p>(3) 新聞の割り付け案に合わせて、調べてきたことをまとめ直している。<br/>(書く能力・記述)</p> <p>(4) 文末表現が適切な形になっている。<br/>段落を意識して書いている。<br/>敬体で書いている。<br/>(言語についての知識・理解・技能)</p> |
|---|---|

4 指導計画 (3年生12時間, 4年生12時間)

過程	学習過程・主な学習活動 (第3学年)	学習過程・主な学習活動 (第4学年)
事前	朝読書の時間に、友達の手書きの自由研究を読ませる。 総合的な時間の学習との関連を図っておく。 「言葉プリント」をしておく。	朝読書の時間に、新聞を読ませる。 総合的な学習の時間との関連を図っておく。 「言葉プリント」をしておく。
つかむ	<p>1 夏休みの自由研究を見て、今までに書いてきた経験を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・上手にまとめられている人と、自分のものはどこが違うのかな。</p>  </div> <p>2 「研究レポート」は、どんなものを調べる。 ・自分たちの教科書のレポート例を見ながら、レポートとはどういうものなのかについて話し合う。</p> <p>3 研究レポートについてまとめる。 <b>調べたことや分かったことをまとまりごとにまとめたものを研究レポートという。</b></p>	<p>1 社会科で作成した新聞を見て、今までに作成してきた経験を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・新聞作りで苦労したところは、どこだったかな。</p>  </div> <p>2 「新聞」はどんなものを調べる。 ・実際の新聞や教科書の新聞例を見ながら、新聞とはどういうものなのかについて話し合う。</p> <p>3 新聞の工夫についてまとめる。 <b>新聞は、出来事を写真やグラフなどを入れたりしながら、一枚の紙にまとめたものである。</b></p>
つかむ	<p>4 単元のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>総合の時間で調べている宇宿校区のことについて、共同で研究レポートを書こう。</p> </div> <p>○ 3年生は実態を考慮し、共同でのレポート作成とする。</p>	<p>4 単元のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>総合の時間で調べている宇宿校区のことについて、個人で新聞を作ろう。</p> </div> <p>○ 4年生は実態と評価のしやすさを考慮し、個人での新聞作成とする。</p>
見通す	<p>5 学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 宇宿校区のことについて、どんなことを研究レポートの内容として取りあげるか、それぞれに決める。</li> <li>○ 項立てについて考える。</li> <li>○ レポートの構成法や記述の仕方について学んでから、そのことを自分たちのレポート作成に生かしていくことを確認する。</li> </ul>	<p>5 学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「新聞名」「その新聞名にした理由」「記事にしたい内容」を考える。</li> <li>○ 記事の中で知らせたい優先順位を決める。</li> <li>○ 新聞の構成法や記述の仕方について学んでから、そのことを新聞づくりに生かしていくことを確認する。</li> <li>○ 3年生のアドバイザーとして、昨年度の学習を生かせるよう意識付ける。</li> </ul>

見 通 す	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の項立てと自分たちのレポートの項立ては違うよね。どのような項立てにしようか。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>○ インタビューの仕方について確かめる。</li> <li>○ メモのとり方について確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞にするには、いくつかのせる内容が必要だね。誰に聞けばくわしく教えてもらえるかな。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>○ インタビューの仕方について確かめる。</li> <li>○ メモのとり方について確かめる。</li> </ul>
調 べ る	<p>6 教科書のレポート例を使って、構成や記述の仕方について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「まとめりごとに分かれていること」「横書きであること」「文末表現の違い」などに気付く。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レポートはまとめりごとに分かれていて、小見出しでそのまとめりが分かりやすくしあるんだね。</li> <li>・ 横書きでは、コンマが使われているよ。</li> <li>・ 「～です。」と書いたときと、「～だそうです。」と書いたときのちがいは何かな。</li> </ul>  </div> <p>7 自分で決めた内容についてインタビューを中心とした方法で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合的な学習の時間との関連を図る。</li> <li>○ 4年生とも情報交換をする。</li> </ul>	<p>6 教科書の新聞例を使って、構成や記述の仕方について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「一番書きたいことが上に大きく位置していること」「記事の内容を分かりやすくしたり、目立たせたりするために図や写真が添えられていること」「見出しがあると、どこにどんなことが書かれているか分かりやすいこと」などに気付く。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新聞の記事の大きさのちがいは、どこからきていのかな。</li> <li>・ 図や写真がある場合とない場合では、どうちがうのかな。</li> <li>・ 見出しの役割は何だろう。</li> </ul>  </div> <p>7 自分で決めた内容について、インタビューを中心とした方法で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合的な学習の時間との関連を図る。</li> <li>○ 3年生とも情報交換をする。</li> </ul>
習 得 す	<p>8 取材したことを持ち寄り、草案を作る。【本時】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分が調べてきたことをもとに、レポートの構成について話し合う。</li> <li>○ 調べてきたことを、項目に合うように付箋に書き出し、貼り付けていく。</li> <li>○ 自分の取材で、足りないところはないか確認する。</li> </ul> <p>【具体的指導事項（構成）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「調べたこと・調べた理由」「調べて分かったこと」「調べた感想」の項立てにそって書いている。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レポートはまとめりごとに分かれていて、見出しでまとめりを分かりやすくしているんだね。</li> <li>・ 調べた感想はどうしようかな。</li> </ul>  </div>	<p>8 新聞の割り付け計画を作成する。【本時】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3時間目に学習した新聞の構成の工夫を確認し、それに合わせて自分の新聞の構成案を作る。</li> <li>○ それぞれの記事の割り付けの工夫を発表させ、アドバイスをもらせるようにする。</li> </ul> <p>【具体的指導事項（構成）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 見出し・本文の構成が見られる。</li> <li>□ 重要な記事を一番上に大き目に持ってきている。</li> <li>□ 写真や図表を添える計画がある。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一番書きたいことが、目立つように工夫できているかな。</li> <li>・ 見出しは、これでいいかな。</li> <li>・ ここに写真があるとわかりやすいなあ。</li> </ul>  </div>





## 5 本時（第3学年：6/12，第4学年：6/12）

### (1) 目標

自分の取材してきたことを、「調べること・調べた理由」「調べて分かったこと」「調べた感想」の項立てに合わせて、レポート全体の組み立てを考えると、新聞の構成の基本を押さえながら、取材してきたことをどのように割り付けるかを考えることができる。

### (2) 指導に当たって

指導に当たって、まずは本時が「構成」を指導事項として取り扱う時間であることを明確にしておく必要がある。（※視点1「指導事項の重点化」）その上で、前時までに調べてきたことをもとに、3年生はレポート、4年生は新聞の構成案を考える学習であることから、各児童がどのような内容を、どのような方法で、どこまで調べられているかを指導者がしっかりと把握しておいてから、本時の指導を行うことが求められる。

また、調べてきたことを内容ごとに書き分けられているかを短い時間で見取り、評価やアドバイスをしていく必要がある。そのための工夫として、色分けした色紙や付箋を準備し、貼り出した状態での見取りが可能なおきたい。（※視点3「間接指導を効果的に行う教材・教具の工夫」）

本学級は、3年生と4年生の複式学級である。複式指導のよさを生かすため、単元の中でできるだけ交流場面を作ることを心がけている。本時の中でも、「まとめる」段階で学んだことと感想を交流する場面を作りたい。（※視点4「異学年交流の場の設定」）また、間接指導を充実させるために、ガイドとの打ち合わせの充実や一単位時間の授業の流れの掲示、間接指導に移る前の見届け、直接指導に戻る前の見取りなどに心がけたい。（※視点3「ガイド学習の工夫」）